

令和7年度の取組状況について

<取組方向1> (1) 糖尿病予防のための啓発

【健康推進課の取組例】

○野菜・果物摂取不足等の課題解決のため、食に関わる専門家等の今後の活動の意欲向上や県民が健康的な食生活を実践できることを目的とするイベントの開催。

会 場:イオンモール津南イオンホール

参加者数:約180名



4歳から97歳まで幅広く、野菜や果物に関する知識を、興味を引くように伝えることで、食べる楽しみにつなげていこうという県内の野菜ソムリエ上級プロの講演で、参加者にも大変好評であった。

みえの食フオーラム
令和7年度三重県食生活大会
野菜7ル350であなたの未来に
笑顔の花を咲かせる

講演「日々の食事にプラス1の知識とプラスαの楽しさ」

講師 野菜ソムリエ上級プロ 中澤 真規 さん

2025
11/23 (日・祝)
10:30~12:00 (受付:10:00)
イオンモール津南3Fイオンホール
(津市高茶屋小森町145)

2012年 野菜ソムリエの資格取得
2014年 三重県唯一の上級プロになる
2022年 野菜ソムリエアワード個人部門で「食実」受賞
現在 伊賀市で「野菜・果物を食べる健康になる人」を
増やしていこう」という想いで活動中

申し込み方法
①「みえの食フオーラム申込」
②お申し込みの時期
③お申し込みの場所
お申し込みの時期は、Eメール、Eメール、Eメールから
お申し込みの時期は、Eメール、Eメール、Eメールから
お申し込みの時期は、Eメール、Eメール、Eメールから
お申し込みの時期は、Eメール、Eメール、Eメールから

【保健所・市町の世界糖尿病デーに合わせた取組例】

- 地域の、医療機関、スーパー、駅、公共施設等へのポスターの掲示。
- 市町広報へレシピの掲載等による啓発
- 市民公開講座や糖尿病予防のための料理教室の開催
- 行政チャンネルでの周知啓発
- LINE等SNSを活用した啓発
- 保健指導の実施
- お城のライトアップ

様々な対象者に届くよう工夫を凝らした啓発が実施されている。



<取組方向1> (2) 誰一人取り残さない健康づくりの推進

三重とこわか県民健康会議 (R元.9~)

目的

「誰もが健康的に暮らせる“とこわか三重”」の実現に向け、企業、関係機関・団体、市町等が一体となり、県民自らが主体的に取り組む健康づくりや企業等における健康経営の取組を推進する。

活動内容 (三重とこわか健康経営大賞、各種表彰などを実施予定)

- 健康づくりの**県民運動の推進**に関すること
- 健康づくりにおける多職種連携に関すること
- 健康づくりに関する情報の提供及び理解の促進に関すること

組織

会議

- 構成員: 103団体の代表者
- 会長: 三重県知事

幹事会

- 構成員: 上記団体から選出した実務者、庁内関係各課
- 幹事長: 三重県医療保健部長

保健医療関係団体、保険者、福祉関係団体、健康づくり関連団体、経済団体等、報道機関、学識経験者、教育関係団体、行政機関

健康寿命の延伸へ!

三重とこわか健康立県宣言

- **と** 特定健診・がん検診等受診率向上に取り組めます
- **こ** こころの健康づくりに取り組みます
- **わ** 「輪」、「つながり」を大切にします
- **か** 身体(からだ)づくりのために望ましい食習慣と運動習慣に取り組めます

市町・保健所・企業等における啓発イベント

「県民健康の日(9月7日)」及び「健康増進普及月間(9月)」等において実施

- ①がん ②糖尿病 ③循環器病
- ④栄養・食生活 ⑤身体活動・運動 ⑥喫煙 ⑦飲酒
- ⑧歯・口腔の健康 ⑨休養・睡眠

日本健康会議2025

理念と目標を共有

- 保険者等における先進的な予防・健康づくりの取組を全国に広げるための**民間主導の活動体**
- **経済界・医療関係団体・自治体・保険者団体のリーダー**が手を携え、**健康寿命の延伸**と**医療費の適正化**を図ることを目的
- 2015~2020年(第一期)までの活動に引き続き、**誰もが活躍できる社会を実現していく**ことを目的
- メンバーは、**各団体のリーダー及び有識者の計31名**で構成(R5.10現在)

個人の主体的な健康づくりの取組を促進するアプローチ

企業等における健康づくりの取組を促進するアプローチ

誰もが無理なく自然に健康な行動をとれるアプローチ

三重とこわか健康マイレージ事業

県内29市町全てで取組を開始(H30.7~)



三重とこわか健康経営カンパニー(ホワイトみえ)

- ・健康経営®の取組を促進する**認定制度**を創設(R元~)
- ・**三重とこわか健康経営大賞**の表彰(R2~)
- ・**三重とこわか健康経営促進補助金**の創設(R2~)
- ・**三重とこわか健康経営殿堂入りカンパニー**の認定(R5~)

①健康経営にかかる取組の実施

例えば...



※「健康経営®」は、特定非営利活動法人健康経営研究会の登録商標です。

自然に健康になれる環境づくり

- ・身体活動・運動に取り組みやすい環境づくり
- ・**たばこの煙の無いお店**の認定
- ・**歯科保健**における**フッ化物洗口**の推進
- ・**三重とこわか食環境イニシアチブ**(R7~)



<取組方向1> (2)-1三重とこわか健康マイレージ事業

三重県健康づくり応援サイトの充実



健康づくりサポート **店** をさがす

三重とこわか健康マイレージ事業
特典協力店
さがす

三重とこわか健康マイレージ事業
取組協力事業所
さがす

健康づくり応援
の店
さがす

たばこの煙の無い
お店
さがす

三重とこわか
健康マイレージ事業とは
詳しく見る>

健康づくり応援
の店とは
詳しく見る>

たばこの煙の無い
お店とは
詳しく見る>

マイレージ魅力度・認知度アップ事業

PR動画の作成

https://www.youtube.com/@mie_kenkou



三重とこわか健康マイレージ
プロモーション動画



三重とこわか健康マイレージ
PV～貯める編～

三重とこわか健康マイレージ
PV～使う編～

事業PRのための
バナー、チラシ
作成等

三重とこわか健康応援カード配布実績（令和6年度）

	桑名市	いなべ	木曽岬	東員町	菰野町	朝日町	川越町	四日市	鈴鹿市	亀山市	津市	松阪市	多気町	明和町	大台町
合計	890	30	18	51	200	34	52	1,009	671	1,555	894	297	80	343	363
9,118	伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢	伊賀市	名張市	尾鷲市	紀北町	熊野市	御浜町	紀宝町	
	573	45	12	94	37	82	508	256	16	222	333	54	270	129	

<取組方向1>(2)-3 自然に健康になれる環境づくりの推進

誰一人取り残さない食環境づくりによって、県民の皆さんが無理なく健康的な食生活を実践し、活力ある持続可能な”とこわか三重”を実現します。

食品流通事業者

- ・棚割り、価格等における健康的な食品の販売の工夫
- ・塩分控えめ、野菜たっぷり等の惣菜・弁当等の主流化、栄養成分表示の実施 など

食品製造事業者

- ・塩分控えめ等の健康的な食品の積極的な開発・製造
- ・パッケージの工夫等による効果的な販売戦略の実施 など

外食・配食事業者

- ・塩分控えめ、野菜たっぷり等の健康的なメニューの充実
- ・価格、メニュー表記の工夫による販売戦略
- ・栄養成分表示の実施 など

金融機関

- ・ESGファイナンスのセミナー等による事業者の取組促進
- ・県民、事業者への適切な情報提供 など



行政

- ・食環境づくりが促進される仕組みづくり
- ・取組や成果の取りまとめ、好事例の横展開
- ・関係機関と連携して事業者を支援
- ・関係機関、事業者、県民への適切な情報提供 など

メディア

- ・三重県の栄養課題や健康的な食生活等に関する情報発信
- ・参画事業者と連携した広報活動の展開 など

その他事業者

- ・顧客、従業員へ向けた栄養課題等の情報発信
- ・従業員食堂における健康的なメニューの主流化 など

職能団体・市民団体 等

- ・県民の声を元に参画事業者へアドバイス
- ・県民と事業者の適切な仲介
- ・県民への適切な情報提供 など

学術関係者

- ・食環境づくりに関する研究
- ・参画事業者の取組を評価・分析
- ・公平な立場で事業者を支援
- ・県民への適切な情報提供 など

<取組方向1>(2)-3 自然に健康になれる環境づくりの推進

【概要】

令和7年度、産学官等が連携・協働して、誰もが自然に健康になれる食環境づくりを展開する「三重とこわか食環境イニシアチブ」を立ち上げ、取組を推進している。その取組の一つとして、消費者向け普及・啓発イベント「とこわか 食と元気フェア」を、当事業参画事業者等とともに開催した。

【会場】

イオンモール津南 つどいの広場

【内容】

- ・味覚チェック
- ・野菜摂取量の測定
- ・子供向けワークショップ(大人も参加可)
- ・参画事業者による展示ブース 等

【参加者】

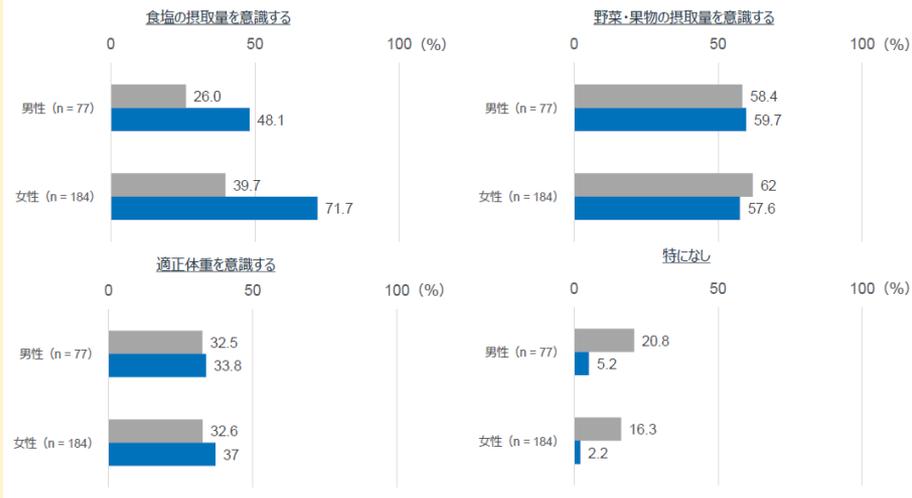
約350人



【アンケート結果より】

1.消費者向けイベント 来場者アンケート集計結果 (Q3・4と性別のクロス集計)

・食塩の摂取量への意識は男女ともに大きく上昇し、他の項目では緩やかな変化にとどまった。



- ・食塩の過剰摂取への意識は男女とも大きく上昇した
- ・食生活に関して特に意識しないと回答した人も何らかの意識の向上がみられた



<取組方向2> (1)糖尿病対策推進会議市町事業報告・検討会の開催

○糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく、市町における取組実施状況の報告

・令和8年4月2日(木)開催予定

＊名張市、多気町、尾鷲市より事例報告予定

好事例を横展開

○事業実施にあたっての課題、問題点等に係る意見交換

・三重県糖尿病対策推進会議委員(専門職)からの助言

取組の質の向上

○三重県における糖尿病に関する状況について報告

・三重県市町国保医療費分析事業の結果について報告



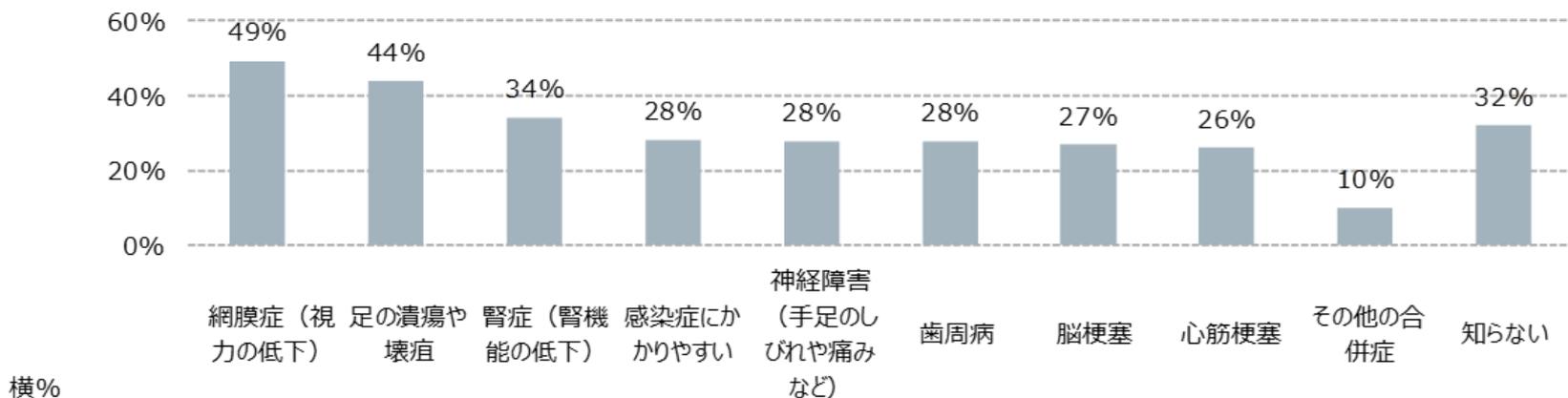
<取組方向2> (2)特定健診/CKDの認知度に関する住民意識調査の実施

三重県に在住する30歳以上79歳以下の男女各500名（計1000名）を対象に8月にアンケートを実施

糖尿病の合併症における認知項目

- ・糖尿病の合併症における認知項目として、全体では「網膜症（視力の低下）」が最も高く49%、「足の潰瘍や壊疽」が44%と続いた。
- ・年代比較では、「網膜症（視力の低下）」が70代が63%、60代が56%、「足の潰瘍や壊疽」が70代が52%、60代が48%となった。
- ・性別比較では、男女ともに「網膜症（視力の低下）」が最も高く、「足の潰瘍や壊疽」が続いた。

【糖尿病】合併症における認知項目



		横%	n(Total)									
			網膜症（視力の低下）	足の潰瘍や壊疽	腎症（腎機能の低下）	感染症にかかりやすい	神経障害（手足のしびれや痛みなど）	歯周病	脳梗塞	心筋梗塞	その他の合併症	知らない
Total	Total	1000	49%	44%	34%	28%	28%	28%	27%	26%	10%	32%
	30代	200	32%	35%	31%	24%	25%	23%	24%	26%	9%	48%
	40代	200	46%	40%	29%	27%	26%	30%	24%	23%	6%	35%
	50代	200	50%	46%	33%	27%	31%	26%	26%	27%	12%	30%
	60代	200	56%	48%	40%	31%	33%	33%	35%	32%	11%	27%
	70代	200	63%	52%	39%	32%	25%	27%	26%	24%	14%	21%
男性	Total	500	43%	36%	32%	22%	23%	21%	28%	26%	10%	35%
	女性	500	55%	52%	36%	34%	32%	34%	26%	26%	10%	28%

※ソート：TOTAL降順

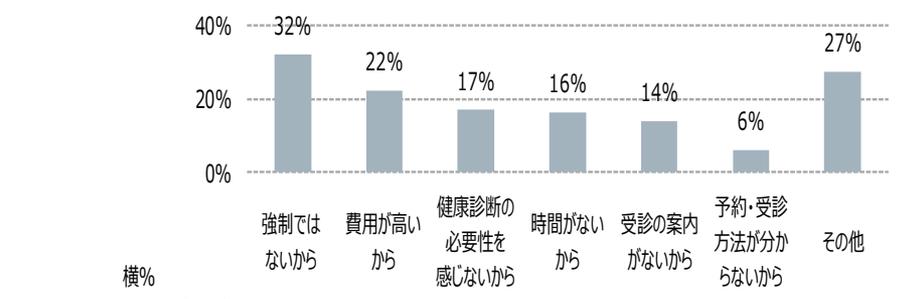
<取組方向2> (2)特定健診/CKDの認知度に関する住民意識調査の実施

健康診断等の「非受診理由」と「受診促進に必要な施策」

・健康診断等の非受診理由として、全体では「**強制ではないから**」が最も高く**32%**、次いで「**費用が高いから**」が**22%**と続いた。年代比較では、「強制ではないから」が70代が45%、60代が35%、「費用が高いから」が30代が31%、40代が30%となった。性別比較では、男女ともに「強制ではないから」が最も高く、男性は「健康診断の必要性を感じないから」が続き、女性は「費用が高いから」が続いた。

・受診促進に必要な施策として、全体では「**受診の費用補助**」が最も高く**66%**、次いで「**かかりつけ医でも受診が可能であること**」が**39%**と続いた。年代比較では、「受診の費用補助」が各年代とも高く、「かかりつけ医でも受診が可能であること」は、70代が52%、60代が43%となった。性別比較では、男女ともに「受診の費用補助」が最も高く、**男性は「土日や祝日に受診が可能であること」、女性は「かかりつけ医でも受診が可能であること」**が続いた。

非受診理由



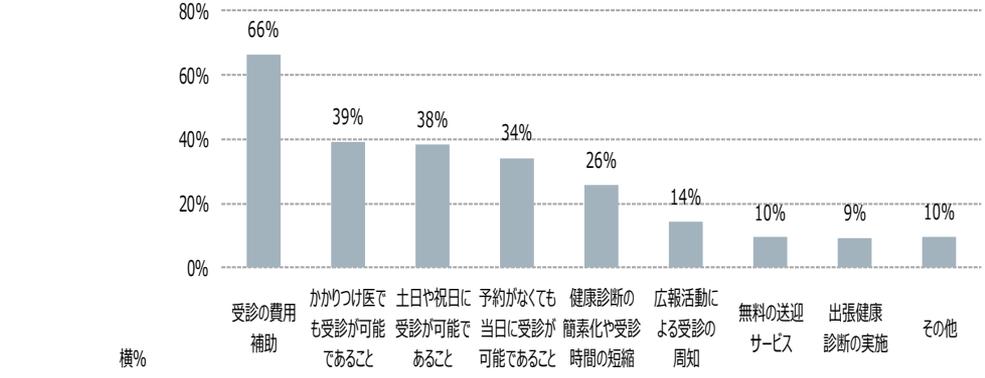
		n(Total)	強制ではないから	費用が高いから	健康診断の必要性を感じないから	時間がないから	受診の案内がないから	予約・受診方法が分からないから	その他
Total	Total	300	32%	22%	17%	16%	14%	6%	27%
	30代	91	33%	31%	14%	20%	26%	8%	19%
	40代	64	23%	30%	11%	14%	9%	8%	36%
	50代	44	25%	16%	7%	20%	14%	2%	34%
	60代	52	35%	19%	27%	21%	8%	8%	27%
	70代	49	45%	6%	29%	4%	4%	2%	27%
男性	Total	145	30%	20%	21%	17%	15%	6%	26%
女性	Total	155	34%	25%	13%	15%	13%	6%	28%

※ベース：過去1年に健康診断の受診経験がない方

※ソート：TOTAL降順

※n<50は参考値

受診促進に必要な施策



		n(Total)	受診の費用補助	かかりつけ医でも受診が可能であること	土日や祝日に受診が可能であること	予約がなくとも当日に受診が可能であること	健康診断の簡素化や受診時間の短縮	広報活動による受診の周知	無料の送迎サービス	出張健康診断の実施	その他
Total	Total	1000	66%	39%	38%	34%	26%	14%	10%	9%	10%
	30代	200	62%	34%	48%	29%	25%	11%	14%	11%	16%
	40代	200	64%	33%	55%	37%	29%	11%	11%	15%	11%
	50代	200	69%	35%	41%	29%	19%	12%	6%	7%	9%
	60代	200	75%	43%	31%	37%	29%	20%	10%	8%	7%
	70代	200	62%	52%	17%	40%	28%	19%	8%	6%	7%
男性	Total	500	62%	33%	35%	28%	22%	13%	9%	9%	12%
女性	Total	500	71%	46%	41%	40%	29%	16%	10%	9%	8%

※ソート：TOTAL降順

<取組方向3> (1)糖尿病重症化予防人材育成研修会

令和7年度

糖尿病重症化予防人材育成研修会 ～糖尿病性腎症重症化予防のために～

受講料
無料

糖尿病の発症予防や重症化予防のために、糖尿病性腎症重症化予防プログラム等による地域と医療が連携した取組や多職種連携による患者への療養支援が必要とされています。これらの取組が患者の身近な地域で効果的に行われるよう、当研修会は、糖尿病に対する専門的な支援ができる人材を広く育成することを目的とし、平成30年度より開催しています。

糖尿病性腎症重症化予防を中心に、基礎を学びたい方、知識を広げたい方はぜひご参加ください。

日程 令和7年9月20日(土) 9:15～15:00

会場 三重県庁講堂(三重県津市広町可13番地)

定員 先着 50名(先着順となります)

対象 医師、歯科医師、薬剤師、保健師、助産師、看護師、准看護師、管理栄養士・栄養士、理学療法士、臨床検査技師、歯科衛生士、行政職員等

申込方法 裏面の申込み用URLまたは二次元コードからアクセスいただき、必要事項をご記入の上お申し込みください。

◆研修プログラム◆ 9:00～会場受付

内容	講師	所要時間
糖尿病重症化予防人材育成研修会場の概要	四日市保健医療センター 名誉院長 住田 安弘	約5分
糖尿病重症化予防の必要性について	三重県医療保健部国民健康推進課 課長 坂口 誠三	約10分
糖尿病重症化予防について(医師の立場から①) 「糖尿病重症化予防プログラムの基礎知識」	三重中央医療センター 糖尿病内分泌内科医師 田中 剛史	約30分
糖尿病重症化予防について(医師の立場から②) 「糖尿病性腎症の検査を中心に」	伊勢赤十字病院診療センター センター長 村田 和也	約30分
糖尿病重症化予防の支援と留意点	みじわらクリニック 糖尿病看護認定看護師 山本 成典	約30分
糖尿病重症化予防における食事療法	前橋中央総合病院 栄養管理科管理栄養士 川合 純幸	約30分
糖尿病重症化予防における運動療法	主体会病院総合リハビリテーションセンター 日本糖尿病療養指導士(理学療法士) 藤 友基	約30分
糖尿病重症化予防のための薬剤の基礎知識	三重病院薬剤科 糖尿病薬物療法認定薬剤師 山本 高嗣	約30分
グループワーク(13:30～15:00)		
症例検討(糖尿病性腎症重症化予防対策の取組)	三重大学客員教授/診療クリニック 医師 矢野 裕 三重大学保健管理センター 講師 古田 純子	約90分

※所要時間についてはおおよその時間です。

※都合により講師が変更になる場合があります。

※裏面の研修会申込み方法についてをご確認ください。

高市

【申込み・問合せ先】 三重県医療保健部健康推進課 健康対策班 担当：岡田、金谷、佐藤
TEL：059-224-2294 / FAX：059-224-2340 / E-mail：kenkot@pref.mie.lg.jp

研修会開催の概要等

先着50名限定で、講義及びグループワークによる集合研修を開催

【成果】

参加者49名

- ・所属：医療機関17名、行政23名、他3名
- ・初めての参加者36名(84%)
- ・療養指導の経験ない人21名(58%)

理解度

- ・参加者全体：4.5点/5点
- ・療養指導の経験のない方：4.4点/5点

感想より

- ・腎症の理解が深まった
- ・対象者をよく知り寄り添いたい
- ・見える化シート等を活用しわかりやすい説明を行いたい
- ・多職種で相談しながら指導を進めたい
など理解度の深まりや指導への意欲がみられた。



<取組方向3> (2)特定健康診査・特定保健指導実施者研修会

1. 概要

開催日	令和7年7月10日（木）、11日（金）、14日（月）
研修形式	7月10日、7月11日 オンライン形式 7月14日 集合形式
目的	特定健診・特定保健指導を効果的・効率的に実施する体制整備のための人材育成
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 医療保険者に所属する医師・保健師・管理栄養士等 市町衛生部門等の保健師・管理栄養士等 民間事業所等において特定健診等の委託を受け、当該事業に従事する予定の医師・保健師・管理栄養士等

2. 成果

参加者数（全体）	117名 （保健師73名、管理栄養士33名、看護師6名、事務職5名）
アンケート結果	全講演において、受講者の9割以上が「今後の事業に活かせる・概ね活かせる」と回答した。研修内容についても前向きな意見が多かった。

研修プログラム

日 時	講義内容・講師	修了証書発行要件	
		【初任者】 ◎必須	【3年以上】 ◎必須 ○1つ以上
7月10日(木) ※オンライン	13:30 ~ 13:40 ～ オリエンテーション		
	13:40 ~ 14:40 ～ ○ 特定健診・特定保健指導の理念・制度・仕組み ○ 特定保健指導の流れ ○ 生活習慣病やメタボリックシンドロームに関するの知識 講師 三重県医療保健部国民健康保険課 技師 戸上 央	◎	
	14:40 ~ 14:50 ～ 休憩		
	14:50 ~ 16:20 ～ ○ 特定健診・特定保健指導、生活習慣病予防に関する最新情報 講師 伊勢赤十字病院 健診センター長 村田 和也 氏		◎
7月11日(金) ※オンライン	10:30 ~ 12:00 ～ ○ エネルギー収支を改善するための保健指導 食生活に関する保健指導の実際 講師 三重大学医学部附属病院 栄養診療部 副部長 栄養士長 小出 知史 氏	◎	○
	13:00 ~ 14:30 ～ ○ エネルギー収支を改善するための保健指導 身体活動に関する保健指導の実際 講師 JSR健康保険組合 健康運動指導士 松本 陽子 氏	◎	○
	14:30 ~ 14:40 ～ 休憩		
	14:40 ~ 16:10 ～ ○ 喫煙・飲酒習慣者への保健指導 喫煙、アルコールに関する保健指導の実際 講師 亀山市立医療センター 診療部長 岩佐 紘 氏	◎	○
7月14日(月) ※集合(演習)	10:00 ~ 12:00 ～ ○ 初回面接(演習) 講師 健康企業推進サポート シャイニング・ライフ 代表 水越 真代 氏 ※グループワークのため集合のみ	◎	
	13:00 ~ 16:00 ～ ○ 行動変容に関する理論と実践 ○ 困難事例の検討 ○ 保健指導の効果分析、保健指導方法の見直しと改善 講師 健康企業推進サポート シャイニング・ライフ 代表 水越 真代 氏 ※グループワークのため集合のみ		◎

